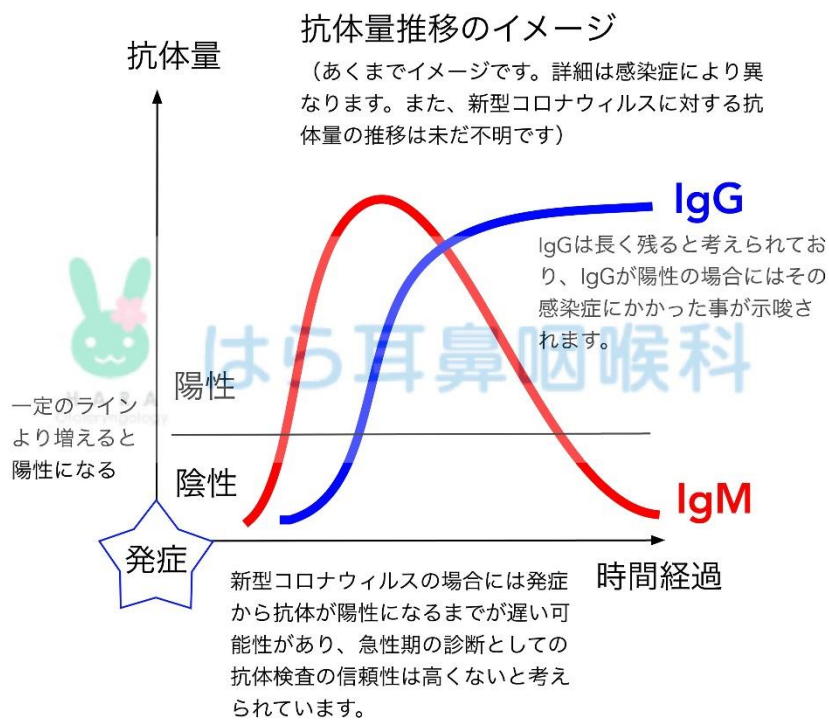


抗体検査とは：

一般的に「抗体」とは、感染症にかかると、その感染症に対する抗体（IgM、IgG 等）が血中で生成されます。IgM が早期に生成され短期間で消失し、IgG が遅れて生成され長期間残ります。血中に IgG 抗体があれば、一般的にその感染症には感染しない、もしくは感染しづらいと言われています。IgM は早期に生成されるため、現在その感染症にかかっているか、IgG は長期間残るため過去にその感染症にかかったことがあるかを示しています。

IgM：現在その感染症にかかっているか

IgG：過去にその感染症にかかったことがあるか



以上が一般的な話ですが、新型コロナウイルス感染症では IgM が生成されづらく、1 週間以内～1 週間後程度から生成されるなど、かなり幅があり、遅れて生成される可能性が示唆されています。IgG は 1 週間後程度から生成されるといわれており、IgM と IgG の生成される時期があまり変わらない可能性があります。そのため、上記の一般的な感染症の場合とは違い、「IgM が陰性でも現在新型コロナウイルス感染症にかかっていな

いとはいえない」といえる可能性があります。

また、新型コロナウイルス感染症に関してはまだ情報が不足しているため、抗体があっても実際にかからないか、抗体があってもいつまで持つか等はまだ不明です。

また、十分な量の抗体がない場合等には、実際には新型コロナウイルス感染症にすでにかかっている、抗体がある人でも陰性になる場合（偽陰性）があります。また、それとは逆に抗体がないのに陽性になる場合（偽陽性）の可能性もあると言われていています。これに関しては確率の差はありますが、新型コロナウイルス感染症の検査に限らず、多くの検査に共通していえることです。

以上をまとめると、新型コロナウイルス感染症の抗体検査は主に「過去にコロナウイルスに感染したことがあるかを調べる検査だが、偽陽性や偽陰性の可能性がある検査」といえると考えています。

（これに対して PCR 検査は「現在コロナウイルスに感染しているか」を調べる検査です。）

上記の通り、データも十分ではなく不明な点が多い検査ではありますが、全く何もわからずに過ごすよりは少しでもご自身の現状をより知ることができる数少ない手段の一つです。

以上をご理解いただいた上でご希望のある方には検査を行わせていただきます。

当院の抗体検査はソフトバンクの孫正義氏とは関係ありません。

保険適用外の為、自費での御負担になります。

検査の実際：

指先を消毒し、細い針が飛び出る器械で指先に小さい傷を作ります。

出てきた血液を数滴、検査キットに垂らします。

15分程度お待ちいただき、IgM・IgGの結果を確認します。